

与板地域委員会まちづくり提案内容のまとめ

平成25年3月4日

地域委員会では、平成23年度からまちづくりについての協議テーマを決定し、第1分科会、第2分科会の二つに分かれ協議を行ってきました。

第1分科会では「地域資源とその活用方法」、第2分科会では「福祉・人づくり関係」についてを協議テーマとして、合同会議も含めそれぞれ十数回の協議を重ねてきた結果、次のとおり協議内容をまとめましたので提案します。

「地域資源とその活用方法」について

< 協議経過 >

各委員が提案した項目を基に地域の活性化に向けて、どんな地域資源を取り上げ、どんなことに取り組んでいけば良いか検討を行った結果、単独でものを考えるのではなく、各資源をつなげて回遊性を活かしたものが必要ということになった。

具体的なテーマ・方策内容等について協議した結果、更なる地域資源の掘り起こしを行い、地域外からの人たちだけを対象とするものではなく、地域住民からも与板のことを知ってもらう意味も含め、「与板再発見」というテーマを決めた。

地域資源を活用する協議を進めるにあたり、実際に地域資源を知る意味で支所を起点として遊歩道、街中を中心にまちめぐりを実施した。

「天地人通り」や「河川公園」等の地域資源と「与板まちめぐりマップ」を活用し、地域住民の関心と感動を呼び起こす事業・活動内容について、具体的なテーマ・方策内容等を協議した結果、次のような提案内容のまとめとなった。

< 提案内容 >

地域資源を活用する施策として、今までに「まちめぐりマップ」や「町内案内看板」が完成しているので、次のステップとして今回協議してきた事業の提案を行う。

天地人通りを中心に地域資源、名所、旧跡等の方向を示す矢印案内標識の設置

スポーツ広場や資料館に設置してある案内大看板のリニューアル

地域住民主体によるワークショップ等を開催し、意見をとりいれた内容の案内マップを提案し、表面のみを張り替えする。

既存の標識看板等への説明板設置

行政、各種団体が設置した地域資源、名所、旧跡等の標識看板に説明板をつける。

それぞれの事業検討、実施にあたっては観光協会、ガイド会、好きらて与板等の住民団体による実行委員会を組織し、将来の地域づくりを考えながら進めていく方法が良いと考えられる。また、提案内容については、全てがすぐに実施することはできないと考えられるので将来的（年次的）な提案とする。

「福祉・人づくり関係」について

< 協議経過 >

各委員が提案した項目を協議するにあたり、協議内容の範囲が広いことから項目を絞込み具体的なテーマを決定することとした。

高齢者対策やバリアフリー対策についての意見が多かったことから、車椅子試乗体験を行い、体験をふまえて地域づくりについての意見交換を行った結果、安全安心をキーワードとして、危険箇所マップの作成やバリアフリー対策など、関係機関・町内会等の活動団体と連携を図りながら地域住民参加型の事業、活動内容について協議を進めた。安全マップについては防災関係で作成されていること、ただ作るだけでは埋もれてしまう可能性がある等の意見から「人づくり」の項目に絞って協議を進めることになった。

「ものづくり」よりも与板の知りたいことや残したいことなどをテーマとした講演会等では話を聴く機会を設けることで、いろいろなきっかけを通して将来の「人づくり」につなげていきたいという意見集約になり、各委員から実施したい講演会、シンポジウムについて提案をもらい協議した結果、次のような提案内容のまとめとなった。

< 提案内容 >

まちづくりシンポジウムとして継続的に講演会等を実施する。平成25年度については次の3項目に絞ることとして、次年度以降に他の提案も取り入れる。

大矢 紀画伯講演会

与板ゆかりの日本画展で開催されたトークイベントでの話など、与板地域住民の皆さんにもたくさんのメッセージと思いを伝えてもらいたい。

・開催時期：毎年行われている絵画教室の時期に合わせて開催

与板十五夜まつり（登り屋台）シンポジウム

登り屋台、社壇・神楽の関係者と県内で同様の催事を行っている団体関係者を招待して、講演会及びトークイベントによるシンポジウムを開催したい。

・開催時期：与板十五夜まつり前の7月～8月頃

たどってみよう「与板の地域看板」

「お船の里まち歩き」として完成した町内案内看板を巡るまち歩きイベントを実施する。ウォーキングとサイクリングをとりまぜて北部、街中、南部の3区域に分けて年3回程程度の計画で実施。

成人式

成人式の際に、提案・意見の中にあつたような内容を実施できるかどうか実行委員会で検討をお願いしたい。可能であればシンポジウムの1つとして取り上げることもできると考えられる。